

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3141308号
(U3141308)

(45) 発行日 平成20年5月1日 (2008.5.1)

(24) 登録日 平成20年4月9日 (2008.4.9)

(51) Int.Cl. F 1
A 6 3 F 7/02 (2006.01) A 6 3 F 7/02 3 4 9 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 10 頁)

(21) 出願番号 実願2008-1182 (U2008-1182)
(22) 出願日 平成20年2月2日 (2008.2.2)(73) 実用新案権者 308005235
北川 泰宣
大阪府東大阪市玉串町西3丁目1番12号
(72) 考案者 北川 泰宣
大阪府東大阪市玉串町西3丁目1番12号

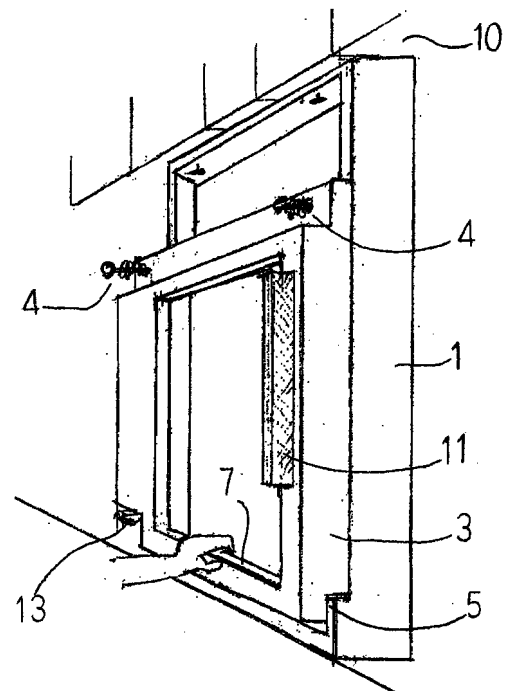
(54) 【考案の名称】 パチンコ機の設置補助具

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 一人の作業者であっても、水準器等を用いて、パチンコ機の外枠を、一旦設定した傾斜角度を変えることなく、島枠に固定でき、これによりパチンコ機本体を所定の後傾角度で設置できて、所期の入賞率を安定させるようにする。

【解決手段】 パチンコ機を、島設備に対して所定の後傾角度で設置するための設置補助具であって、パチンコ機の外枠1の前面に平行な前面を有し、外枠の前面の実質的に全面に接当可能な略矩形の補助枠体1と、前記外枠1と補助枠体3の接当状態で該補助枠体3を前記外枠1に仮止めする少なくとも一つの連結部材4とから成る。

【選択図】 図7



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

外枠 1 の下部に該外枠 1 の略全体の前面よりも前方に突出した幕板 2 が突出する状態で一体的に設けられているパチンコ機を、島設備に対して所定の後傾角度で設置するための設置補助具であって、

前記パチンコ機の外枠 1 の前面の所定位置に接当可能な補助枠体 3 と、前記外枠 1 と補助枠体 3 の接当状態で該補助枠体 3 を前記外枠 1 に仮止めする少なくとも一つの連結部材 4 とから成り、

前記補助枠体 3 の下部に、前方に突出した前記幕板 2 に嵌合される段部 5 を有する前カマチ 6 が備えられ、

前記補助枠体 3 が、前記外枠 1 の前面 1 A に平行な前面 3 A を有し、且つ、

該前カマチ 6 には、前記外枠 1 の前記幕板 2 の上面 2 A に接当する支持部材 7 が設けられている、

ことを特徴とするパチンコ機の設置補助具。

【請求項 2】

前記支持部材 7 がアングル材からなり、前記補助枠体 3 の両側部 3 C 及び天板 3 D には、アテ棒 8、9 が含まれ、その裏面 8 A、9 A が前記補助枠体 3 の裏面 3 B と面一となるように構成されていることを特徴とする請求項 1 のパチンコ機の設置補助具。

【請求項 3】

前記補助枠体 3 が、アルミの角材からなり、前記前カマチ 6 は、そのアルミの角材の溶接により構成され、また、前記連結部材 4 がクランプであることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 のパチンコ機の設置補助具。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、パチンコ機を、ホールの島設備に設置するのに際して使用する設置補助具に関するものである。

【背景技術】

【0002】

一般に、遊技場にパチンコ機を設置する場合、島設備の島枠にパチンコ機の外枠を固定し、しかる後にヒンジ金具を固定してパチンコ機本体を固定する。

この際、パチンコ機本体は、遊技盤面を流下する遊技球を所定の確率で入賞させるようにするために、所定の角度で後傾（本体上部が島設備内側に入り込む）させている。一般に多用されているこの種の傾斜角度としては、鉛直線に対して、通常、振り幅は、3 分乃至 5 分 5 厘の 5 厘刻みの 6 段階（尺貫法）である。

【0003】

そして、このようにパチンコ機を所定の角度で後傾させるためには、外枠を島枠に仮止めた状態で、外枠の傾斜状態を検査することが必要であり、その為に、水準器（気泡利用）、錘等の手段が使用され、こうした測定手段については、種々提案されている。

【0004】

そして、外枠の傾斜角度を所定角度とした状態で島枠に固定（釘打ち）するのに、先ず、作業者が外枠の上部を島枠の天板に固定し、下部を手前に引きよせて、この外枠の側部前面に水準器を当て、角度を確認してから台カマチ（島枠）に固定（釘打ち）する。

こうした取り付け作業は、作業員が一人で行うのが普通であり、従って、水準器を当て付けた状態で固定（釘打ち）を行うというわけには行かないもので、一旦、水準器を置いて、ハンマーに持ち替えて釘打ちを行う必要があり、釘打ち途中で傾斜角度が変化してしまうことが多々ある。勿論、外枠を取り付けた後に角度を再確認し、ズレていれば、当然に固定をし直す必要がある。

【0005】

このようなパチンコ機の島設備に対する取り付けかわる先行術としては、例えば、次

10

20

30

40

50

のようなものが提案されている。

【特許文献１】特開２００５－３２９２２５。

【特許文献２】特開２００４－１４７７５２。

【特許文献３】特開平８－１９６５６。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【０００６】

上記のような従来の固定方法は、パチンコ機の取り付け傾斜角度を所定の角度とするための種々の提案ではあるが、言わば事後処理的手法であって、現実の固定作業において発生する角度ズレを未然に回避できるようにする工夫ではなかったものである。

10

従って、従前において、外枠の上部を島枠の上部に釘止めして仮止めし、しかる後に、水準器等を用いて所定の傾斜角度に傾斜設定させ、島枠の下部に釘止めしていたものであるが、外枠の下部を手前側に引っ張って傾斜角度をつける際に、外枠の左右方向（パチンコ機の幅方向）において傾斜角度が異なる虞があった。その結果、このような外枠に対してパチンコ機本体を、ヒンジを介して固定しても、所望の後傾角度が得られず、所期の入賞率を期待できない事態が多々あった。

【０００７】

本考案は、かかる問題点に鑑み、一人の作業者であっても、水準器等を用いて、パチンコ機の外枠を、一旦設定した傾斜角度を変えことなく、島枠に固定でき、これによりパチンコ機本体を所定の後傾角度で設置できて、所期の入賞率を安定させるようにすることを

20

【課題を解決するための手段】

【０００８】

本考案にかかるパチンコ機の設置補助具は、上記課題を解決するために、請求項１に記載の通り、

外枠１の下部に該外枠１の略全体の前面よりも前方に突出した幕板２が突出する状態で一体的に設けられているパチンコ機を、島設備に対して所定の後傾角度で設置するための設置補助具であって、

前記パチンコ機の外枠１の前面の所定位置に接当可能な補助枠体３と、前記外枠１と補助枠体３の接当状態で該補助枠体３を前記外枠１に仮止めする少なくとも一つの連結部材４とから成り、

30

前記補助枠体３の下部に、前方に突出した前記幕板２に嵌合される段部５を有する前カマチ６が備えられ、

前記補助枠体３が、前記外枠１の前面１Ａに平行な前面３Ａを有し、且つ、

該前カマチ６には、前記外枠１の前記幕板２の上面２Ａに接当する支持部材７が設けられている、

ことを特徴とする。

【０００９】

本考案にいうパチンコ機とは、遊技球を遊技盤面上に打ち出し、入賞口に入賞させるものであれば、その形態を問うものではない。

40

また、対象となる島設備についても、島枠が存在するものであれば、どのような形態の設備でもよいものである。

そして、パチンコ機の後傾について、その角度は、３分乃至５分５厘の５厘刻みの６段階（尺貫法）が適当であるが、角度限定の必要性はなく、要望に応じた角度とする。

また、パチンコ機の外枠とは、本体の外側に位置するもので、一般に木製の矩形状の枠体をいうもので、島枠に固定され、ヒンジを介してパチンコ機本体を固定するためのものである。

【考案の効果】

【００１０】

本考案によれば、補助枠体３が外枠１に連結部材４で一体的に連結されていて、その補助枠体

50

を手前側に引っ張ると外枠の全体が一様に前方に変位してくれて、幅方向（パチンコ機）における後傾の角度変化が外枠に生じ難く（外枠が撓み難い）、外枠全体の所期の後傾角度を確保し易いのである。

これにより、一人の作業者であっても、水準器等を用いて、パチンコ機の外枠を、一旦設定した傾斜角度を変えることなく、島枠に固定でき、パチンコ機を所定の後傾角度で島設備に設置することができて、所期の入賞率を確保できることで、遊技性を公正に保つことができる利点がある。

【0011】

そして、前記補助枠体が、前記外枠の前面に平行な前面を有しているので、両者が、連結部材で連結されたときに両社の平行性が確実に確保でき、前記補助枠体を操作したときに、外枠を平行移動させることができて、前記補助枠体を後傾させた角度がそのまま外枠の後傾角度とすることができる。そして、水準器を前記補助枠体の前面に当てつければ、直ちに外枠1の後傾角度を確認することができ、その角度調整を容易に行うことができる。

尚、爾後においては、連結部材を解除することで、補助枠体を外枠から容易に外すことができる。

本考案のその他の具体的な利点は、以下の説明から明らかとなろう。

【考案を実施するための最良の形態】

【0012】

本考案の実施に際しては、前記補助枠体3の両側部3C及び天板3Dには、アテ棒8、9が含まれ、その裏面8A、9Aが前記補助枠体3の裏面3Bと面一となるように構成されていることが好ましい。

尚、ここにいるアテ棒とは、棒状体を指すものではなく、実際には平板状体であり、術語名称とは異なり、その外形状を特定するものではない。

【0013】

このように、前記補助枠体3の両側部3C及び天板3Dがアテ棒8、9を有することで、ここに上記連結部材4を係止させ易くすることができると共にこの部分で確実に前記外枠1に対する接当支持を行うことができる。

勿論、アテ棒が存在せず、前記補助枠体3の両側部3C及び天板3D自体が前記外枠1に接当する構成とされていてもよいことは勿論である。

【0013】

また、前記支持部材7がアングル材からなり、前記連結部材4がクランプであることが好ましい。

このように、支持部材7をアングル材で構成することは構造上、簡単に済むと共に幕板2の上面に対する当たりをスムーズにし、以て、摩耗をよる両者の嵌合部位の変形（両者が木製であるので生じる）を無くして、常に角部分での接当を正確に行い、結果として補助枠体3と外枠1との接当状態を並行な状態に保つことで、外枠1の所期の後傾角度が常に補助枠体3の側に伝わるようにすることができる。

【0014】

そして、連結部材としてクランプを用いることで、補助枠体3を外枠1に対して、連結し、又は連結解除することが容易に行い得る。

勿論、クランプについては、幅方向（パチンコ機）において距離を離して2カ所で用いるのが好ましいが、十分な連結力があれば1箇所であっても差し支えない。

【実施例】

【0015】

以下、本考案のパチンコ機の設置補助具の好適実施の形態を示し、図1は、補助枠体3の前方から見た全体の斜視図、図2は、補助枠体3の正面図、図3は、補助枠体3の背面図、図4は、補助枠体3の側面図、図5は、外枠1を補助枠体3に連結部材4（クランプ）を用いて連結した斜視図、図6は、外枠1を島枠10に固定する一工程図、図7は、同様に外枠1を島枠10に固定する一工程図、図8は、同様に外枠1を島枠10に固定する

10

20

30

40

50

一工程図である。図 9 は、水準器 1 1 に代えて錘ゲージ 1 2 を補助枠体 3 に取り付けて使用する状態を示す斜視図、図 1 0 は、前記錘ゲージ 1 2 の別形態図、図 1 1 は、補助枠体 3 の別形態を示す前から見た斜視図、図 1 1 は、その後側から見た斜視図である。

【0016】

この実施例で対象となるパチンコ機は、外枠 1 の下部に該外枠 1 の略全体の前面よりも前方に突出した幕板 2 が突出する状態で一体的に設けられているタイプのものである。

この設置補助具は、前記パチンコ機の外枠 1 の前面の実質的に全面に接当可能な略矩形の木製の補助枠体 3（合成樹脂製でもよい）と、前記外枠 1 と補助枠体 3 の接当状態で該補助枠体 3 を前記外枠 1 に仮止めする二つの連結部材 4、ここでは二つのクランプとから成るものである。このクランプは、図 5 にも示すように、手操作で鉤形の操作棒を回して、スプリング力を利用して緊締を行うことができるもので、それ自体一般に用いられているものである。勿論、これに代わる適宜の連結手段を用いてよい。

10

【0017】

そして、前記補助枠体 3 の下部に、前方に突出した前記幕板 2 に嵌合される段部 5 を有する前カマチ 6 が備えられており、且つ、該前カマチ 6 には、図 4 にも示すように、前記外枠 1 の前記幕板 2 の上面 2 A に接当する支持部材 7、ここでは、アングル材からなる支持部材が設けられている。

【0018】

また、前記補助枠体 3 は、この実施例では、前記外枠 1 の前面 1 A に平行な前面 3 A を有する。この構造によって、該補助枠体 3 の前面 3 A に水準器 1 1 を当てることができ、この水準器 1 1 を見ることで、前記外枠 1 の傾斜（後傾）をみることとなる。

20

【0019】

更に、前記補助枠体 3 の両側部 3 C 及び天板 3 D には、アテ棒 8、9 が含まれ、その裏面 8 A、9 A が前記補助枠体 3 の裏面 3 B と面一となるように構成されている。このアテ棒 8、9 は、島枠 1 0 に当て付けられるものであるが、この実施例では、前面に平面が向いた平板状体で構成されており、上記連結部材 4（クランプ）に対する十分な止め代となる。

【0020】

そして、図 1 1 及び図 1 2 に示すのは、上記補助枠体 3 の変形例であって、ここでは、構成素材としてアルミ合金の角材を用いており、上述の外枠 1 の幕板 2 の上面 2 A に接当する支持部材 7 は、そのアルミ角材を重ねて溶接（W）して構成している。

30

【0021】

（作用）

上記の構成の設置補助具は、図 6 乃至図 8 に示すように、次の手順で使用される。

まず、図 6 に示すように、パチンコ機から外した外枠 1 を、島設備の島枠 1 0 の内部に持ち込み、島枠 1 0 の上部に当て付け、その外枠 1 の上部を、島枠 1 0 の上部に対して、内側から釘打ちして仮止めする。

次いで、前記外枠 1 に対して、前記補助枠体 3 を 2 個の連結部材 4（クランプ）を用いて、それらの上部位置で、緊締する。

この際、前記補助枠体 3 の前カマチ 6 の段部 5 は、前記外枠 1 の幕板 2 の上面 2 A に乗るようにして嵌合された状態となる。

40

【0022】

図 7 に示すように、この後、前記補助枠体 3 を、その前カマチ 6 を把持して手前側に引き寄せ、上部の釘打ち位置を揺動中心として、該補助枠体 3 と共に外枠 1 を所定の角度で後傾させることができる。この後傾は、パチンコ機の機種、メーカー指示、遊技場の指示に基づいて決定されるが、3 分乃至 5 分 5 厘の 5 厘刻みの 6 段階（尺貫法）から選択されるのが普通である。

【0023】

この際、補助枠体 3 と外枠 1 とは連結部材 4（クランプ）で一体化されているので、その補助枠体 3 を手前に移動させた場合に、外枠 1 が全体として手前側に傾斜し、左右方向

50

で異なる傾斜が現れる虞がないのである。

この状態で、前記補助枠体 3 の前面に水準器 1 1 (気泡タイプ) を当て、所定の角度で傾斜されているどうか確認を行う。

【0024】

次いで、図 8 に示すように、前記外枠 1 の下部を、島枠 1 0 の下部に所定の傾斜角度で釘止めする。しかる後、前記連結装置 4 のクランプを緩め、前記外枠 1 から前記補助枠体 3 を取り外す。そして、前記外枠 1 にヒンジ金具 1 3 を連結して、そのヒンジ金具 1 3 の他側部をパチンコ機本体に連結する。

このようにして、パチンコ機を、島枠 1 0 に対して所定の後傾角度でもって設置、固定するのである。

尚、上述の設置工程として、補助枠体 3 と外枠 1 とを、2 個の連結部材 4 (クランプ) を用いて予め連結しておき、島設備の島枠 1 0 の内部に持ち込み、島枠 1 0 の上部に当て付け、その外枠 1 の上部を、島枠 1 0 の上部に対して、内側から釘打ちして仮止めするようにしてもよい。

【0025】

(別態様)

ここでは、上記実施例における水準器 1 1 (気泡タイプ) に代えて、錘ゲージを使用して外枠 1 の後傾角度を調節する。

図 9 に示すように、前記補助枠体 3 の内側に、錘ゲージ 1 2 を枢着し、垂下させている。

そして、前記補助枠体 3 の前カマチ 6 の上面に、メモリを設けており、所定の角度にゲージが振れたことを見て、角度の調節を行う。

尚、外枠 1 の設置、固定の手順は上記実施例と変わらない。

【0026】

上記錘ゲージ 1 2 の変化例として、図 1 0 に示す。

ここでは、錘ゲージ 1 2 を、ケーシング 1 2 A の内部に装着し、その上端分を枢着して垂下させ、振り幅を見ることができるよう構成されており、そのケーシング 1 2 A を補助枠 3 の内側に設置するようにして用いる。

【産業上の利用可能性】

【0027】

本考案におけるパチンコ機の設置補助具は、外枠を所定の後傾角度で島設備に固定するタイプのパチンコ機であれば、どのようなタイプの機種でも適応でき、その応用範囲は広い。

【図面の簡単な説明】

【0028】

【図 1】本考案にかかるパチンコ機の設置補助具の補助枠体の全体の前方から見た斜視図である。

【図 2】本考案にかかるパチンコ機の設置補助具の補助枠体の全体の後方から見た斜視図である。

【図 3】本考案にかかる補助枠体の背面図である。

【図 4】本考案にかかる補助枠体の一側面図である。

【図 5】本考案にかかる補助枠体の他側面図である。

【図 6】本考案にかかる外枠を島枠に固定するための一工程図としての斜視図である。

【図 7】本考案にかかる外枠を島枠に固定するための一工程図としての斜視図である。

【図 8】本考案にかかる外枠を島枠に固定するための一工程図としての断面図である。

【図 9】本考案の別態様を示す錘ゲージを使用する斜視図である。

【図 1 0】本考案の別態様を示す錘ゲージの別形態を示す斜視図である。

【図 1 1】本考案の別態様を示す補助枠体の前から見た斜視図である。

【図 1 2】本考案の別態様を示す補助枠体の後ろから見た斜視図である。

【符号の説明】

10

20

30

40

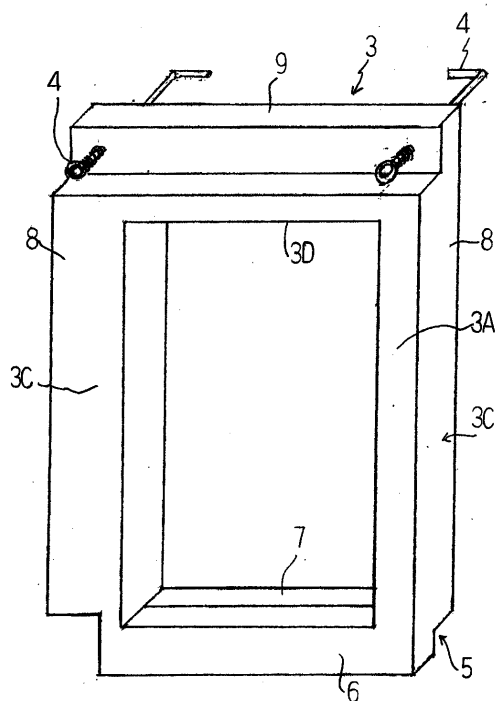
50

【 0 0 2 9 】

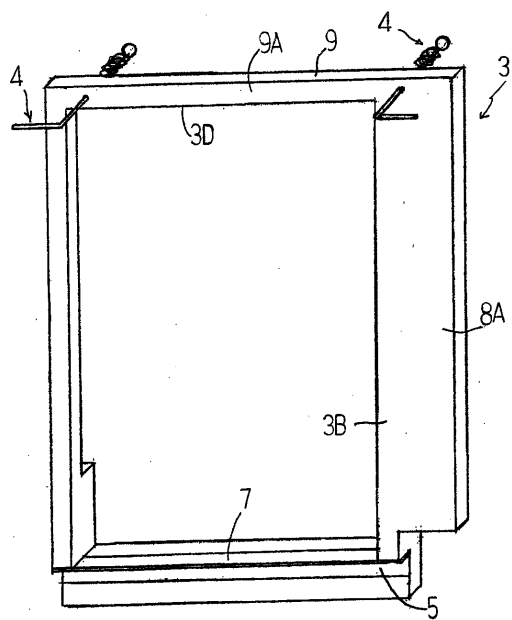
- 1：外枠
1A：外枠の前面
2：幕板
2A：上面
3：補助枠体
3A：補助枠体の前面
3B：補助枠体の裏面
3C：補助枠体の両側部
3D：天板
4：連結部材
5：段部
6：前カマチ
7：支持部材
8：アテ棒
8A：アテ棒 8 の裏面
9：アテ棒
9A：アテ棒の裏面

10

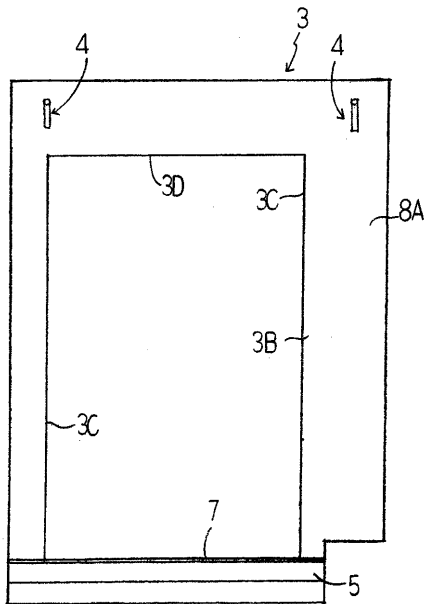
【 図 1 】



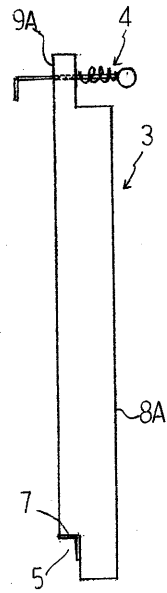
【图 2】



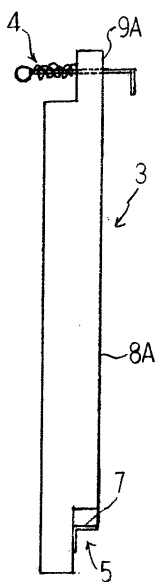
【図 3】



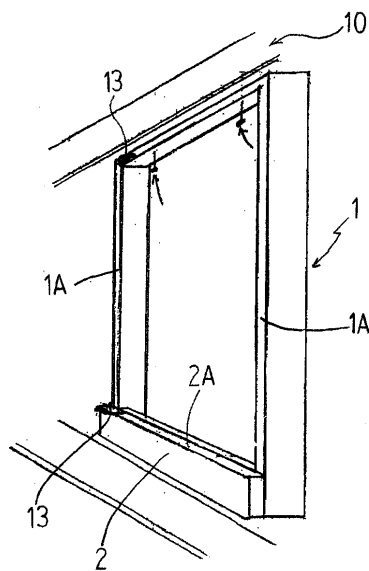
【図 4】



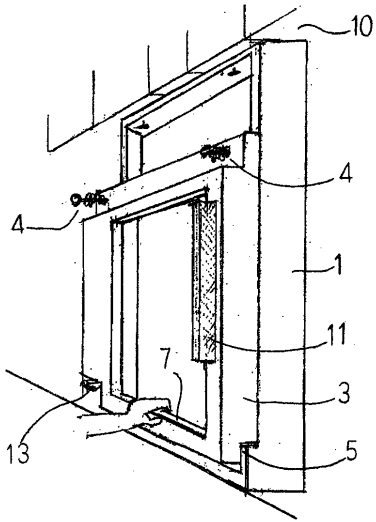
【図 5】



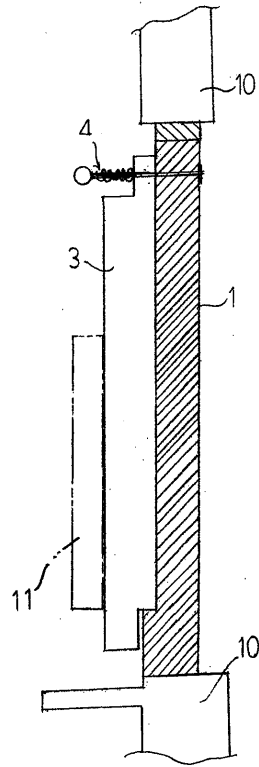
【図 6】



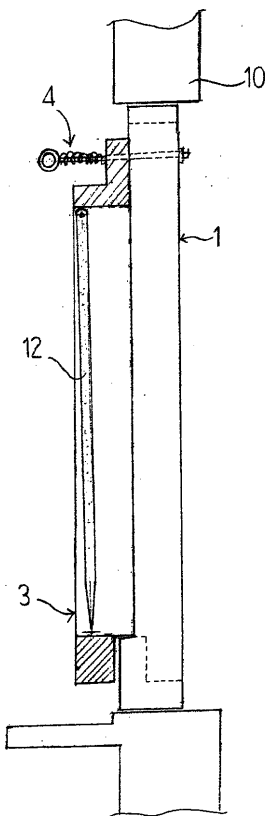
【図 7】



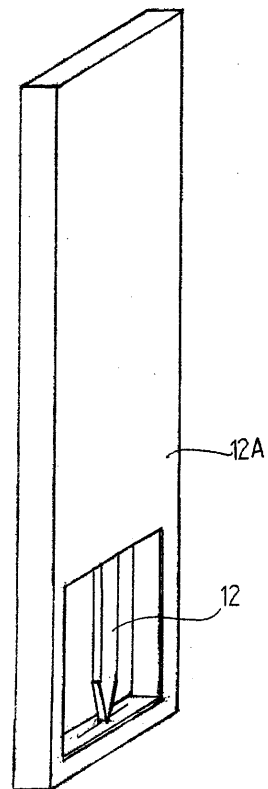
【図 8】



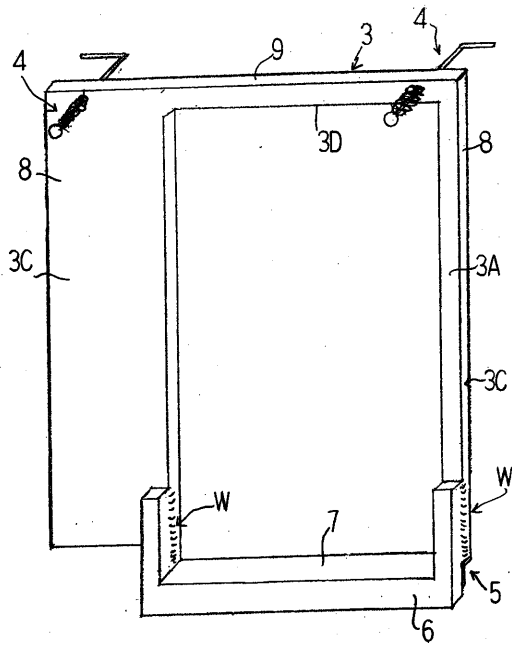
【図 9】



【図 10】



【 図 1 1 】



【图 1 2】

